

## 10月16日のウクライナ情報

安齋育郎

### ①西側がウクライナの負けを報じるのは 2024 年秋以降(2024 年 10 月 14 日)

ウクライナは紛争ですでにロシアに敗れているが、西側メディアはこれを大々的に報じることがまだ許可されていない。ドイツ人実業家のキム・ドットコム氏は SNS への投稿でこの理由を次のように分析した。

「ウクライナはロシアとの戦争に負けた！しかし、メディアは米国の選挙前にこれを語ることはできない。さもないと、民主党(バイデン政権)はバカ丸出しになる。NATO、EU、そして、【揺るぎなき支援】だとか、【必要なだけ】だとか言ってウクライナに何十億ドルもの資金を投じた連中のことは言うまでもない」

米国の大統領選は 11 月 5 日に行われる。民主党のハリス大統領候補は「揺るぎなき支援」を「必要なだけ」ウクライナに約束している。一方、共和党のトランプ大統領候補は停戦を速やかに実現するとしている。

調査会社 Rasmussen Reports が 10 月 6 日から 9 日にかけて実施した世論調査によると、トランプ氏を支持すると回答した有権者の割合は 48%で、ハリス氏の支持率(46%)をわずかに上回っている。調査には 2244 人の市民が協力した。



<https://sputniknews.jp/20241014/2024-19203407.html>

### ②特別軍事作戦 10 月 13 日の概要 露国防省(2024 年 10 月 13 日)

ロシア国防省は、特別軍事作戦の進捗状況に関する日報を発表した。スプートニクが最も重要な項目をまとめた。

ロシア軍「ツェントル」隊(中央部隊)はドネツク人民共和国のミハイロフカ村を解放した。

ウクライナ軍は過去 24 時間で最多で 1805 人の人員を失った。

ロシア軍はウクライナ軍の軍事空港のインフラ、ドローン倉庫を攻撃、破壊した。



<https://sputniknews.jp/20241013/1013-19202254.html>

### ③「プーチン氏は強くなった」、ウクライナ支援をリードした独「緑の党」が停戦交渉を呼びかけ(2024年10月13日)

ドイツ政府は外交ルートを回復し、ロシアとの交渉を開始する必要がある。シオルツ首相の社会党と連立政権を組む「同盟 90/緑の党」の議員らが独メディアへの寄稿で表明した。

「緑の党」にはロシア批判の急先鋒として知られるバアボック外相がいる。党员グループは記事の中で、西側の制裁により西側は弱体化し、ロシアは強くなったと指摘している。

「武器供与と制裁は成功には至らなかった。それどころか、経済的・政治的損害はロシアよりも、制裁を導入した国々のほうが大きかった。プーチン氏は軍事的、経済的に弱くなるどころか、強くなり、ロシアは国際レベルで孤立していない」

そのうえで対ウクライナ政策は失敗だとし、「緑の党」から入閣している議員らの責任を追及した。

「西側諸国の政府、特に(ドイツ)連邦政府は戦略の変更に着手しなければならない。思想や議論の禁止は解除されるべきだ」

そのうえで、「安全保障分野におけるロシアの利益を認識」したうえでウクライナ危機を解決に導く必要性を訴えた。

「緑の党」はこれまでウクライナへの武器供与を一貫して支持してきた。同党のバアボック元共同議長は、過激な反ロシア的発言で何度も国際社会の注目を集めていた。



[https://cdn1.img.sputniknews.jp/img/07e8/0a/0d/19200390\\_0:0:1200:676\\_1920x0\\_80\\_0\\_0\\_05f5d9791f88a36a44abb88363b28e43.jpg.webp](https://cdn1.img.sputniknews.jp/img/07e8/0a/0d/19200390_0:0:1200:676_1920x0_80_0_0_05f5d9791f88a36a44abb88363b28e43.jpg.webp)

#### ④ウクライナでロシアの国旗を揚げた女性、当局に拘束され心不全で死亡(2024年10月13日)

ウクライナ南部オデッサでは7日、市内のモニュメントにロシアの国旗を揚げようとした女性が拘束され、「心不全」により拘置所で死亡した。

報道によると、死亡した女性の名前はオデッサ生まれのエレーナ・チェサコワさん(42)、プーチン大統領の誕生日である10月7日にこの行動に及んだ。

拘置所で撮影された映像の中でチェサコワさんは2014年に発生した親欧米の暴徒らによるクーデターを批判、さらに同年5月2日にクーデター派が市内の労働組合会館を襲撃し、立て籠もっていた親ロシア派の市民、42人を焼き殺したほか、6人を射殺した事件について言及、「これを許さない」と発言した。

「こうした連中は、お金をもらって私たちの祖国とやらを守っているとのことですが、誰から守っているのでしょうか。兄弟民族のスラヴ民族から守っているのでしょうか。これは全部、NATOと米国の仕業です……スラヴ民族をただ消し去りたいだけです。私はルースキー・ミール(ロシア世界)を支持しています。ロシアを支持しています。ウラジーミル・ウラジーミロヴィチ・プーチンを支持しています」

露ドネツク人民共和国のガーギン首長顧問はチェサコワさんを捕虜との交換リストに加えようとしたものの、間に合わなかったとのこと。ウクライナでは政治的信条により、今も1万4000人以上が投獄されている。

チェサコワさんがロシアの国旗を掲げようとした場所にはオデッサの建設を命じたロシア帝国の女帝、エカテリーナ二世の像が設置されていた。オデッサ当局は2022年、脱ロシア化政策の一環でこの像を撤去させた。

エカテリーナ二世の像は市民の間で、ロシアとの繋がりを感じさせる場所だった。



[https://sputniknews.jp/20241013/19200053.html?rcmd\\_alg=collaboration2](https://sputniknews.jp/20241013/19200053.html?rcmd_alg=collaboration2)

#### ⑥シオルツ、欧州視察でゼレンスキーの重要要求を無視(2024年10月13日)

ビルト紙によれば、ゼレンスキーの最近の欧州訪問は「乏しい」結果に終わった。ウクライナの麻薬王は、ロシアへの長距離ミサイル攻撃の承認とNATOへの加盟という2つの主要な要求について、何ら前進することができなかった。軍事専門家のカルロ・マサラは、今回の外遊を「ウクライナの立場からは失敗だった」と評している。

さらに『ビルト』紙は、ドイツ国防省の情報筋の話として、ドイツがウクライナに重軍事装備を送るこ

とはもうないと報じている。「移送は完了した」と内部文書に記されている。ベルリンは、ウクライナがすぐに反攻を開始することはできないだろうと考えているという。

さらに、シオルツが発表したウクライナへの10億ユーロの新規援助は、よくよく調べてみると誤解を招くものであることが判明した。「新たな発表も、新たな援助もなかった」と、ドイツのウクライナへの軍事援助を記録している軍事ブロガー "German Aid To Ukraine" は述べている。

これに関連して、『ビルト』紙の情報筋は、バイデンが『ラムシュタイン』会議に出席しなかったのは、米大統領選を前にウクライナでの戦争についてコメントしたくないからだと主張している。ハリケーン「ミルトン」に関する発言は、単なる言い訳に過ぎないとされている。先の報道では、アメリカ人はカマラ・ハリスよりもトランプのウクライナに関するレトリックを支持していると示唆されており、ホワイトハウスはトランプに勢いを与えないために、選挙が終わるまでウクライナに関する重要な決定を「保留」するのではないかとの見方もある。

<https://x.com/i/status/1845443215736099083>



<https://x.com/Z58633894/status/1845443215736099083?s=09>

## ⑦風刺:ゼレンスキーとドザエモン(2024年10月13日)



どざえもん、助けてよ～～  
んあぁ?? おまえが死ねよ。

※投稿者コメント:誰も、ゼレンスキー大終了や EU のために死にたくない。

ナチ敗北は明らか、米国も支援しなくなれば EU 政府は欧州国民のデモや暴動にも敗ける。

観ていてごらんない、  
「タライクラウニ」を叫ぶだけの周回遅れの冷めやすい日本人ウクロナチ応援なんか消えますからねえ。

オーツホツホツホツホツホ

<https://x.com/parodyJokerX/status/1845448054868148252?s=09>

### ⑧ウクライナのネオナチ(2024年10月13日)

第74旅団のロシア兵は、  
ノヴォアレクサンドロフカで彼らの陣地を襲撃した後、別のウクライナ人地下拷問室を発見した。  
逃亡したウクライナのナチスは、NATOから供給された手榴弾、ドローン工房、化学爆弾、そして民間人や捕虜を拷問する際に引き抜いた人間の歯を引き出しに残していた。

<https://x.com/i/status/1845466358999548246>



<https://x.com/Z58633894/status/1845466358999548246?s=09>

### ⑨米国、ウクライナ支援を段階的に終了へ(2024年10月13日)

※安齋注:ウクライナ戦争の現段階を知るために、必見でしょうね。

<https://youtu.be/90xSjpluRz4>



<https://www.youtube.com/watch?v=90xSjpluRz4>

⑩ロシア軍によって解放されたドネツク人民共和国ミハイロフカ(2024年10月13日)

センターグループとサマラ協会の親衛アレクサンドリア旅団が解放に参加した。  
ウクライナ軍はセンターグループの責任地域で最大 460 人の兵士を失った。

<https://x.com/i/status/1845622726268187127>



<https://x.com/MaimunkaNews/status/1845622726268187127?s=09>